

「少年消防クラブ交流会(全国大会)」を 宮城県南三陸町で開催しました!

一般財団法人 日本防火・防災協会

今年で2回目となる「平成28年度少年消防クラブ交流会(全国大会)」が、総務省消防庁主催のもと、8月3日(水)～5日(金)の3日間、宮城県南三陸町において、開催されました。

当日は北海道から沖縄までの43の少年消防クラブ(クラブ員227名、指導者84名、合計311名)が参加して行われました。

この交流会は、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練や避難所体験を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、地元消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶことにより、将来の地域防災の担い手の育成に資することを目的として、実施されています。

【1日目】

オリエンテーションや各参加クラブから一言ずつクラブ活動紹介、復興への祈りをこめた和太鼓演奏の鑑賞を行いました。



クラブ員挨拶の様子

【2日目】

■合同練習

平成の森しおかぜ球場(南三陸町)において、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送・展張やロープの結索などを取り入れた競技式の訓練をクラブ対抗により行いました。



クラブ対抗障害物競走



クラブ対抗リレー

【クラブ対抗リレー及び障害物競走結果】

- | | | |
|----|------|-----------------|
| 1位 | 愛知県 | 豊田市竜神中学校少年消防クラブ |
| 2位 | 埼玉県 | 三郷市少年消防クラブ |
| 3位 | 千葉県 | 浦安市少年消防団 |
| 4位 | 宮城県 | 歌津中学校少年防災クラブ |
| 5位 | 神奈川県 | 高津ジュニアハイスクール消防隊 |



表彰式

■避難所体験

南三陸町総合体育館「ベイサイドアリーナ」にて、南三陸町婦人防火クラブ連合会や南三陸町消防団の皆様方にご協力をいただき、アルファ米を使ったカレーライスやカップスープを食べました。

避難所体験として段ボールハウス作りを行い、グループごとに区画を作り、床の上にマットを敷いた寝床で就寝しました。

この「ベイサイドアリーナ」は、5年前の東日本大震災時では実際の避難所として、また津波災害対策本部としても使われ、多い時で1,000人以上が避難生活を送っていた施設でもあります。



【3日目】

宮城県南三陸町消防団の団長より、東日本大震災時の活動状況や災害に備えるための心構え等のお話をいただき、「日頃から地域の住民同士でコミュニケーションをとることが大切。そして自分の命が助かったら、まずは水の確保。備蓄の他に、井戸や湧水などがどこにあるか知っておく。」などアドバイスいただきました。

その後、宮城県気仙沼市 階上中学校少年消防クラブによる活動発表では、東日本大震災において“なぜ逃げ遅れてしまった人々が多かったか”など住民にアンケートをとった結果や、教訓をもとに日頃学校で取組んでいる防災活動などについて発表をしていただきました。



南三陸町消防分団長による講話



階上中学校少年消防クラブによる活動発表

【編集後記】「新しい自主防災組織」

この20年余、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、自主防災組織（自主防）の育成が全国的に進められてきた。その結果、全国の自主防の組織数は約16万団体、人員は4,250万人にも達している。しかし、問題はその活動の内容である。

先日、お話を聞く機会があった神戸市消防局の方によれば、阪神・淡路大震災発災当時の自主防は「もっぱら日常的に地域で発生する火災や救急事故に対する防災意識の普及や啓発に重点をおいた活動を行っており、大規模災害時の初期消火や救出・救護・避難誘導等の活動を目的とした組織ではなく、そのための資機材の保有や訓練もほとんど行っていなかった」という。そこで、そうした反省に立ち、神戸市消防局では「大規模災害時において組織的な防災活動」が行えるような自主防の育成に努めているとのことである。翻って、全国の自主防のうち、どれほどの団体が、こうした認識をもって活動を進めているのだろうか。まだまだ従来の発想に基づいた活動が多くの団体で続けられているのではないだろうか。また、自治体の担当者の認識はどうかだろうか。

おりしも、消防庁主催の「自主防災組織等の充実強化方策に関する検討会」が発足したが、南海トラフ地震等の発生が危惧される中、その検討の結果が期待される。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2016年10月号（通巻10号）

■発行日 平成28年10月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 佐野 忠史

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16（日本消防会館内）

TEL 03 (3591) 7123 FAX 03 (3591) 7130

URL <http://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社